

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

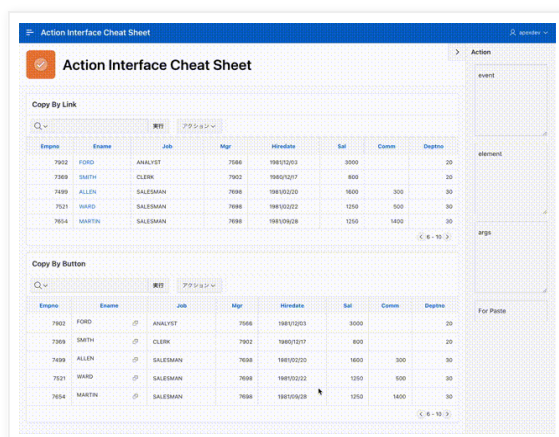
2022年12月1日 木曜日

actionインターフェースを実装しているファクションの引数を調べる

actionインターフェースを実装しているファクションの引数は、event、element、argsの3つです。実際に渡ってくる値を確認するAPEXアプリケーションを作ってみました。

サンプル・データセットのEMP/DEPTに含まれる表EMPをソースとした対話モード・レポートを作成します。

ひとつは列NAMEをリンクとしてaction、**copy-by-link**を呼び出します。もうひとつはボタンをクリックしてaction、**copy-by-button**を呼び出します。



Employee	Name	Job	Mgr	HireDate	Sal	Comm	Deptno
7902	FORD	ANALYST	7698	1981/12/03	3000		20
7369	SMITH	CLERK	7902	1980/12/17	800		20
7499	ALLEN	SALESMAN	7698	1981/02/20	1600	300	30
7521	WARD	SALESMAN	7698	1981/02/22	1250	500	30
7654	MARTIN	SALESMAN	7698	1981/06/28	1250	1400	30

それぞれのactionのコードは以下になります。

```
apex.actions.add([
    {
        name: "copy-by-link",
        action: function( event, element, args ) {
            $s("P1_EVENT" ,JSON.stringify(event));
            $s("P1_ELEMENT",element.outerHTML);
            $s("P1_ARGS" ,JSON.stringify(args));
            // クリップボードにコピー。
            navigator.clipboard.writeText(element.textContent);
            // クリップボードからペースト。
            navigator.clipboard.readText().then(
                (clipText) => {
                    $s("P1_PASTE", clipText);
                }
            )
        }
    }
]);
```

```

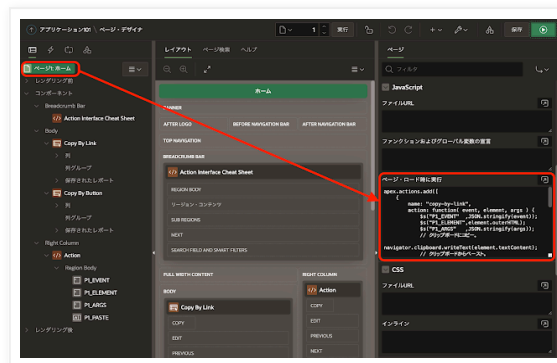
    });
  },
  {
    name: "copy-by-button",
    action: function( event, element, args ) {
      $s("P1_EVENT" ,JSON.stringify(event));
      $s("P1_ELEMENT",element.outerHTML);
      $s("P1_ARGS" ,JSON.stringify(args));
      // クリップボードにコピー。
      navigator.clipboard.writeText(args.ename);
      // クリップボードからペースト。
      navigator.clipboard.readText().then(
        (clipText) => {
          $s("P1_PASTE", clipText);
        }
      );
    }
  }
});

```

action-interface-cheat-sheet.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)

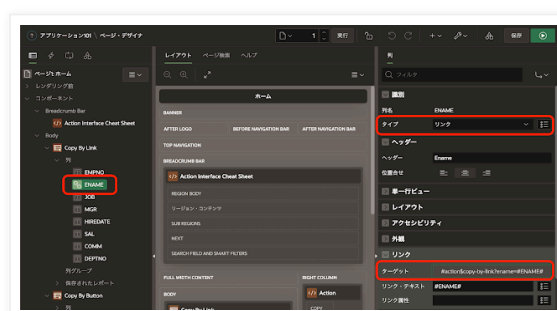
ページ・プロパティのJavaScriptのページ・ロード時に実行に記述します。



列ENAMEのリンクのクリックでactionのcopy-by-linkを呼び出すため、列のタイプをリンクにし、リンクのターゲットを以下に設定しています。

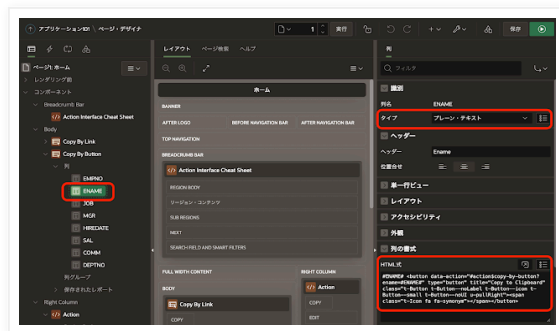
#action\$copy-by-link?ename=#ENAME#

引数enameに#ENAME#を渡していますが、copy-by-linkではargsは参照せずelementからENAMEの値を取得しています。



ボタンのクリックでactionのcopy-by-buttonを呼び出す場合は、列の書式のHTML式に以下の記述を行っています。カスタム属性のdata-actionを使用しています。

```
#ENAME# <button data-action="#action$copy-by-button?ename=#ENAME#" type="button" title="Copy to Clipboard" class="t-Button t-Button--noLabel t-Button--icon t-Button--small t-Button--noUI u-pullRight"><span class="t-lcon fa fa-synonym"></span></button>
```

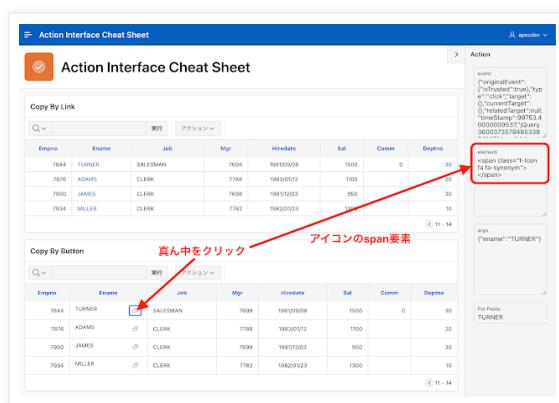


以上の設定で、actionが呼び出された時に、画面右に引数として渡されたevent、element、argsが文字列として表示されます。

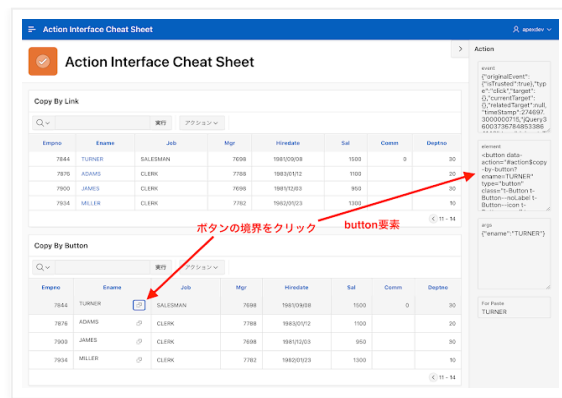
eventとしてactionの呼び出しの契機となったブラウザのイベント、elementは、そのイベントが発生したHTML要素が渡されると思っていたので、大体、想定通りの結果が確認できました。

一点、想定外だったのはボタンを押した時のHTML要素です。

ボタンの真ん中にあるアイコンをクリックすると、elementとしてアイコンであるspan要素が渡されます。



ボタンの境界あたりをクリックすると、elementとしてbutton要素が渡されます。



ボタンからactionを呼ぶ場合はelementがbutton要素になるとは限らないようです。

今回の検証に使用したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/action-interface-cheat-sheet.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 21:32

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.